

児童発達支援・放課後等デイサービス

脳細胞のネットワークを新しくつくる

第2回 Spark さつき 運動療育の説明会

と き: 2018年4月21日(土) 10時~11時半

主催と会場: さつき幼稚園

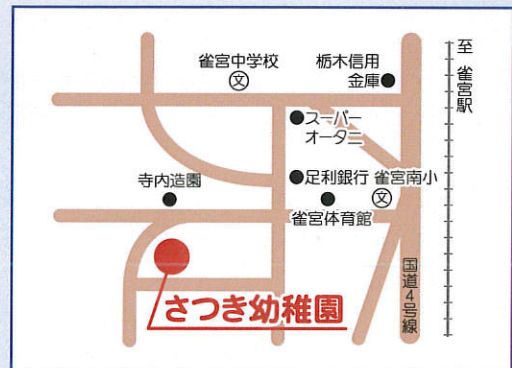
宇都宮市針ヶ谷町297番3

電話: 028-653-8267

FAX: 028-611-1211

申込方法: 裏面に記載しFAX及び郵送で
申し込んでください。

※事前に申し込んだ方は、託児をお受けいたします。
ゆっくり話をお聞きください。



だいじょうぶ、どの子も成長する力を持っています。

発達障害の子の**大脳**を鍛えるには**運動**が一番!

素晴らしい**潜在能力**を目覚めさせます。

まだまだもっと開く

あきらめずに、**お子さんを信頼し**

一緒に力を合わせて、歩いていきましょう。



ジョン・レイティ博士 (ハーバード大学准教授)

著書『脳を鍛えるには運動しかない』(NHK出版・ベストセラー)
運動と脳神経に関する世界的権威の一人となる。
スパーク協会特別顧問。

スパーク協会では、レイティ博士の提唱する理論に基づいて“運動療育”を実施します。
“スパーク”は『脳を鍛えるには運動しかない』の原書名。

レイティ博士は「運動の目的は体の健康のためだと思われるが、何よりも大脳を活性化させ、運動+学習が最強コンビである」と述べている。
博士は、さつき幼稚園が創作した『じゃれつき遊び』(小学館で10万部出版)を視察し、高く評価され Rough and Tumble Play と呼称された。

共動と共感

お子さんと基本的には3人の大人(療育士〔リーダー・プロンプター〕と保護者)が共に身体を動かし、喜びを共有し、脳のネットワークを新しく構築させます。

スパークでは、問題行動に対してアプローチするのではなく、療育士がその子の興味に合わせ感覚を刺激し、遊びを楽しみながら運動につなげます。その運動中、常に称賛し続けることで自己肯定感を高め、脳のやる気スイッチを入れ、一つずつ「できる」を増やしていきます。

～3ヶ月あれば、子どもは変わります～

脳を細胞レベルで良い状態にして、**大脳の発達**を促すために!

スパーク運動療育とは

有酸素運動

～脳の可塑性を高める～

- 運動によって血流が増えて脳の活動に必要なエネルギー源が送られ、脳が目覚める。
また、ドーパミンが生成されてやる気や集中力を増す。
- 脳由来の神経栄養因子(BDNF)や神経成長因子(IGF-1)などが生成されて、脳細胞と神経回路が強化される。
また、脳細胞の新生を促す。
- セロトニンなどの神経伝達物質が生成されて、気分が安定する。

技能習得型

～新しい脳神経回路をつくる～

- コントロール・バランス・協調運動などを通じて、新しい脳神経回路をつくる。
これらの脳神経回路は、学習や記憶などにも使われ、脳機能が高まる。

感覚を刺激

～脳を最も広範囲に使う～

- 脳は常に内外からの感覚情報を処理し、運動命令を出している。
環境からの刺激(特殊感覚)を受けながら、体内の筋肉を使って動く(体性感覚)ことによって、脳は広範囲に使われ活性化される。



利用料金

障害児通所給付制度

児童福祉法に基づき施設利用料の9割が国と自治体より給付され、最大1割の自己負担でサービスを受けることができる。(療育手帳をお持ちの方対象です。世帯収入により自己負担割合が異なります。)

【説明会お申込み】 ※託児をご希望の方は、託児氏名をご記入ください。

参加者氏名	託児氏名	団体の方は所属及び住所	電話番号